

れいゆうかいつうしん No.6

昭和 61 年度商経学科コース卒業生によるミニ同窓会を平成 29 年(2017)5 月 27 日に開催しましたのでその様子をご紹介します。



後列左から筆者 岩城先生 出雲先生 伊藤先生 武内さん
八手又さん 野島さん 赤穂さん

有竹 千鶴(S61 年度商経学科卒)

同窓会開催にあたり、鈴友会から開催準備のご協力をいただき、無事に開催することができました。

大変お忙しい中、伊藤裕先生、出雲敏彦先生、岩城正則先生に、ご出席いただき、同窓生は 5 名と小規模となりましたが、盛会に開催できました。会場は、「四季旬彩料理 なごの浦 清矢」(鈴鹿市内)でした。

伊藤裕先生が、平成 29 年の 3 月末で鈴鹿大学を、定年退職されましたので、先生のご退職お祝いの会をささやかながら同窓生で企画し、すでに鈴鹿大学をご退職されてみえる、出雲敏彦先生、岩城正則先生、大島俊一先生のご退職お祝いの会も一緒にさせていただきたいと、各先生方にご出席をお願いいたしました。

残念ながら、大島先生は、仕事の都合でご出席いただけませんでしたが、終始和やかな雰囲気の中、先生方よりいろいろなお話をうかがうことができ、卒業生とも旧交を温め、あっという間にお開きとなりました。それぞれの先生方から近況や日々のお仕事、暮らしの中で感じられている様々な事柄を引き合いに、卒業生へメッセージをいただきました。

伊藤先生からは、「退職後の大量の書籍・書類などの片付けが大変で、先日、作業中に自宅で足を痛めてしまった」そうで、痛む足を押してご自宅のある三重郡朝日町からご出席いただきました。ご無理をお願いしてしまったようですが、お元気そうに話されてみえてホッとしましたと同時に、昔から変わらずお優しい先生に恐縮し、嬉しく思いました。

岩城先生からは、お孫さんとの日々の交流について沢山の楽しいエピソードや兵庫県のご自宅にある畑での農作業についてなど、様々な体験から興味深いお話しや楽しいお話しに、笑いの絶えない場となり盛り上がりました。先生のお話をうかがって、農作業は大変そうですが、私たちも、庭や畑などで何か作物を作りたいなあ！と、思いました。植物や地域の方々とのふれあいなどから「豊かな生活とは何か」など、日々の暮らしを考える機会となりました。

出雲先生からは、ご家族との交流などについてお話がありました。私たちも 50 代にさしかかり、両親の老いを感じるようになりました。日頃から、親とどうかかわっていけばよいのか考えることもあり、生活への漠然とした不安もありましたが、温かい先生のお話に、前向きに考えて親に寄り添い、生きていこうという気持ちが持てました。

先生方は、人生の諸先輩でもあり、同窓会などでお会いした折にもたくさんのエールをいただきます。今回の同窓会では、「人生において、幸せとはなにか」について、自分なりに考える良い機会となりました。

先生方におかれましては、ケガをされたり、大変お忙しい中、卒業生の呼びかけに快く応じていただき、皆、感謝の気持ちでいっぱいしております。いつまでも、お元気で活躍されますように心よりお祈りしております。

今回の同窓会の開催に関して、多くの同窓生にお誘いが出来なかったことをお許しください。次回同窓会は、多くの卒業生にご参加いただけるよう準備したいと思っております。開催連絡が行きましたら、是非多くの同窓生をお誘いいただきご出席くださいますよう、よろしく願いいたします。

最後になりましたが、先生方へささやかながら、伊勢型紙の小さな額を有志より(当日参加出来なかった卒業生からも)記念品の贈呈を致しましたところ、喜んでくださいました。